

大阪市は市民に寄り添うべき

大阪市議会
環境特別委

井上浩議員が要望



日本共産党の井上浩大阪
市議は、15日開かれた市議
会環境対策特別委員会で、
PFAS汚染問題を取り上
げ、摂津市民らが取り組む

質問する井上浩議員115
日、大阪市議会環境対策
特別委員会

ダイキンPFAS公害調
停にも触れて質問しまし
た。

ダイキン工業淀川製作所
を発生源とするPFOAに
よる地下水汚染を巡り、
大阪府と摂津市、ダイキン
工業の3者による連絡会議
が2009年から開かれて
おり、大阪市も21年からオ
ブザーバー参加していま
す。

井上氏は、「連絡会議の
内容を市民に公開すべき」
と主張。公害調停でも市民
は、ダイキン工業に対して
環境調査などの一切の資料
開示を求めていると述べま
した。

また公害調停ではダイキ
ン工業だけでなく、行政も
含めた住民参加の協議会の
設置を求めていると指摘。

「公害調停が認められれ
ば、大阪市も協議会のメン
バーになる。その際は、住
民に寄り添い、サポートし
てほしい」と強く求めまし
た。

井上氏は、世界各国では
PFASに対する規制が強
化されてきているが、日本
ではこれまで規制値がない
など、世界の流れに大きく
立ち遅れていると強調。
「厳しい規制値を設定する
よう、大阪市として国に求
めるべき」と述べました。